

奈良県内の小規模事業者・中小企業者の新事業展開への助成事業

2024年4月～2025年3月実施予定
(公益財団法人奈良県地域産業振興センター)

【課題】

国内随一の古都として、神社仏閣をはじめとした歴史深い地域資源や、豊かな自然が育む農産物を、豊富に有しているが、その強みを十分にいかせておらず

県内消費率
県民一人当たりの年間商品販売額
県内就業率
県内宿泊者数 が低迷しており、それらの増加が緊急の課題となっている。

【目的】

奈良の魅力を掘り起こし、本事業で支援することで“奈良県に魅力的な商品やサービスを増やすこと”を目的とする。

これにより、**県内消費の増加や、ひいてはブランド力強化による観光客誘致**につながると考える。

【奈良県の施策との連携・親和性】

令和6年2月7日に奈良県が公表した『新しい産業政策のパッケージ』で示す政策重点分野と方向性が一致している。「生産性向上と新規事業への強力な支援」「新たな成長のフロンティア」等の施策と親和性が高く、支援が十分でない新事業展開への助成は、本事業で補完を行い県の施策と連携する。

【本事業の内容】

奈良県内の小規模事業者・中小企業者の新事業展開（**新商品・新サービスの開発等**）にかかる経費の助成支援並びに助成金外部協力者（専門家）による支援を行う。

【支援の内容】

1. 【助成金の交付】

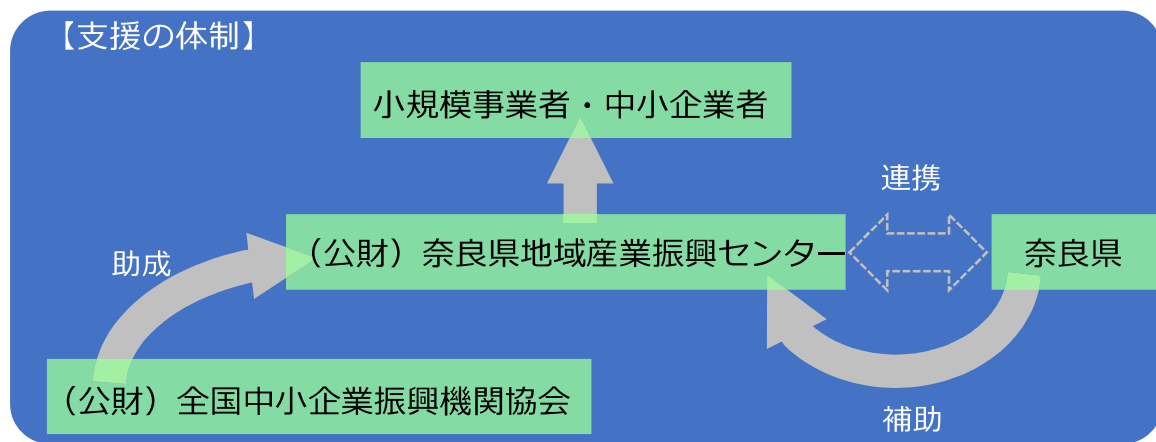
新商品・新サービス開発等の新事業展開等に助成

- 助成対象事業：
 - i) 新商品、新サービスの開発
 - ii) 新規の販路開拓（海外展開のみ）
- 助成率：1 / 2 以内
小規模事業者は2 / 3 以内
- 上限額：2,000千円 以内/社

2. 【外部専門家によるフォローアップ支援】

当財団に登録している中小企業診断士、ITコーディネーター、デザイナー、フードコーディネーター等により事業実施後もフォローアップの一環として個別支援を実施する。

【支援の体制】



【成果目標】

- ・事業終了年度から3年以内に事業化
- ・事業化達成した年の翌年度から3年間で年率3%の付加価値向上

【波及効果】

- ・地域産業の活性化による雇用の創造、県内GDPの向上
- ・実施事業をPRすることによる、地域のプロモーションで観光・宿泊客増加や消費拡大
- ・県および市町村や地域との連携増強

【将来の目標】

- 県のブランドイメージの向上
→首都圏での情報発信

☆銀座松屋常設
“N・A・R・A T・E・I・B・A・N”
☆奈良まほろば館の活用
“まほろばチャレンジリーグ”

○奈良県の魅力の向上

- 県内消費率の向上
- 年間販売額の向上
- 県内就業率の向上